

アート・ブリュット
インフォメーション
& サポートセンター

http://info.art-brut.jp

アート・ブリュット【仏: Art Brut】

「生の芸術」という意味のフランス語。

Artは芸術、Brutはワインなどが生(き)のままである様子を表し、

画家のジャン・デュビュッフェが1945年に考案した概念である。

正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、

既存のモードに影響を受けていない絵画や造形のことを指す。

ACCESS MAP



アート・ブリュット インフォメーション&サポートセンター(略称:アイサ)

〒521-1311滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837番地2

社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

法人本部企画事業部内

TEL 0748-46-8118 FAX 0748-46-8228

E-mail artbrut_info@glow.or.jp

URL <http://info.art-brut.jp>

*アイサは滋賀県の「障害者造形活動支援センター運営費補助金」の助成を受けています。



しかしながら、これらの問い合わせをどこにして
よいのかわからず、活動や展示、取材を断念せざる
を得ない場合があります。また、福祉施設の支援者などは、
寄せられる問い合わせにどう対応してよいか判断に
迷うことも少なくありません。加えて、作品を生み
出す土壌ともいえる福祉施設において、造形活動を
充実させようとするときや新たに取組もうとする
とき、新たに展示スペースを作ろうとするとき等に
相談したり情報交換をする場所がないことや、作者
である利用者の権利(著作権や所有権)が十分に意識
されないまま、作品の販売や保管が行われていること
が課題となっています。

これらの状況を踏まえ、障害のある人やそのご家族、
福祉施設からの相談、美術館や諸団体等からの問い
合わせに対し、必要な情報を提供する等の支援を行う
ためにアイサは誕生しました。アイサは、作者の権利
が保護されるための助言や、作品に関わる(関わり
とする)人と人とか信頼関係をもつてつながるための
中間支援を行うことで、障害のある人が安心して希望を
持って造形活動に取り組める環境づくりを進めます。

およそ60年前、戦後間もない頃から滋賀県の障害
福祉施設では、職業訓練のほか造形活動にも取組まれ、
そこで育まれた多様な表現は作品として形になり、東京
や大阪の百貨店を会場に展覧会も開催されてきました。
このような福祉施設の取組みを礎に2004年に誕生
したボータリス・アートミュージアムNO-MAでは、
現代アーティストと障害のある表現者の作品を並列
に展示するなど「人が表現をするということに障害の
あるなしの境界はない」をコンセプトとした活動を実践
してきました。また、スミス・ローザンヌ市やフランス・
パリの美術館との連携展を実施するなど、海外との
交流事業も積極的に取組んできました。

60年を越える取組みを経て、障害のある人が制作
する作品の中には「アール・ブリュット」として評価され、
美術館で展示される作品も出てきています。世間からの
関心が高まるとともに、障害のあるご本人やご家族が
造形活動をしてみたい(させてみたい)、作っている作品
を出展してみたいという機運も高まり、さらには美術館
や諸団体による作品展示の依頼やマスコミによる取材
依頼等、作者に注目する動きも増えています。